

中部大学『魅力ある授業づくり』プログラム

－教員の教育に関する力量形成へのサポート－



学監 大学教育研究センター長 教授 坪井和男

『魅力ある授業づくり』プログラム導入の経緯

本学では、2008年度よりFD活動重点目標として『魅力ある授業づくり』を掲げ、種々のFD企画を実施し、評価点検を行いながらFD活動の推進に努めてきた。中でも教員の振り返りや自己点検評価を目指して、年度当初に目標設定、年度末に自己評価を行う「教育活動重点目標・自己評価シート」は、ほぼ全員の教員が提出しており本学のFD活動の大きな礎となっている。また、全学の教職員を対象とした高等教育等に関する知見を得るための「FDフォーラム・FD講演会」に加えて、2008年度からは授業運営に関する手法やスキルの習得を目的とした「教員キャリアアッププログラム」「FDカフェ」も実施、さらに授業のピア・レビューや意見交換を行うこ

とでより良い授業運営を目指す「授業サロン」「全学公開授業」など、座学だけでなく実践的なFD企画の整備も整い、積極的かつ継続的に実施している。

一方、新任教員を対象とした、本学の建学の精神、教育理念、FD活動等の説明会も毎年、年度当初に実施している。FD活動の義務化以降、新任教員等の研修が各大学においても盛んに取り上げられるようになり、本学もFD委員会(委員長、山下興亜学長)のもと、さらなる検討を行ってきた。その結果、昨年度から、これまでに整備してきたFD活動の実践的プログラムを活用した「中部大学『魅力ある授業づくり』プログラム」をスタートさせた。

本プログラムの内容

本プログラムは、すべての教員(特に教育歴の少ない教員や新たに

本学に赴任する教員)が持続的に教育力の向上を目指すことを勧奨するものである。本学FD委員会が主催するFD企画、またはFD活動ワーキング長が認めた学部・学科主催等のFD企画への参加によってポイントを付与し、規定の修了要件を満たした教員に、その努力を称えて修了証を授与するシステムである。現在、FD委員会が主催するFD企画、そのポイント付与の条件とポイントは【表】のようになっている。なお、ポイントは、開始から3年さかのぼった2011年度以降のFD企画への参加状況に基づいて付与する。

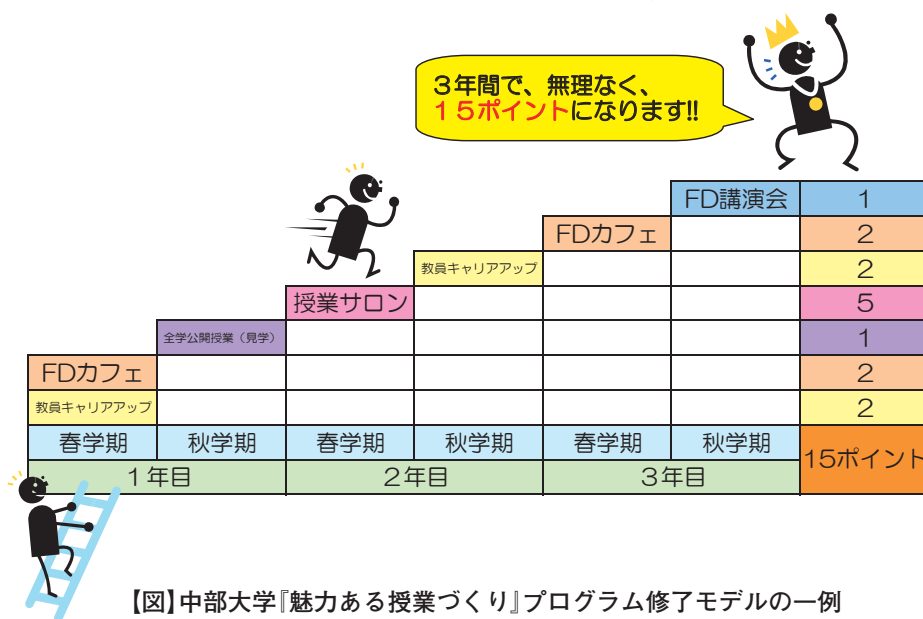
また前記の企画とは別に、オンデマンド講義の視聴によってもポイントは付与される。これは、本学が加盟している「全国私立大学FD連携フォーラム(JPFF: Japan Private Universities FD Coalition Forum)」

【表】中部大学『魅力ある授業づくり』プログラムに関するFD企画

企画	ポイント付与の条件	ポイント
全学公開授業	自分の授業を全学に対して公開	2
	全学公開授業に参加(見学)して、コメントシートを提出	1
授業サロン	授業サロンに参加	5
FDフォーラム FD講演会	本学FD委員会が主催するFDフォーラム・FD講演会に参加	1
学部学科等が主催するFD講演会等	学部学科等が主催するFDに関する講演会・研修プログラムに参加 <該当プログラムは、全学教職員対象で事前に案内されているもの>	1
教員キャリアアッププログラム	教員キャリアアッププログラムに参加	2
FDカフェ	FDカフェに参加	2
学外のFD関連の学会・フォーラム等	学外で開催されるFDに関連する学会やフォーラム等に参加し、所定の参加報告書を提出、または、学部・学科等で開催する報告会での報告 <ポイントの付与は、期間内2回までで4ポイントが上限>	2
その他、FD関連の企画等	上記以外のFDに関連する学内企画への参加に対するポイントについては、企画計画書(様式は別に定める)に基づいて、FD活動WGにおいて検討のうえ、FD活動WG長が定める。	

※各FD企画の詳細は、<http://www.chubu.ac.jp/fdp/>を参照。

新任の先生が赴任後3年間で、以下のように各FD企画に参加すると・・・



【図】中部大学『魅力ある授業づくり』プログラム修了モデルの一例

が提供している「実践的FDプログラム」で、2014年度は本学学部・学科等の組織または個人（専任の教職員のみ）の申請により年度末まで利用することができる。このオンデマンド講義の聴講を希望される方は、大学教育研究センターまでご連絡いただきたい。

本プログラムを修了するには

本プログラムの修了は、以下の2つの要件を満たすことである。本プログラムの運営およびポイントの管理は、FD委員会のもと、大学教育研究センターで担当する。

- ①獲得ポイント：原則として赴任後3年以内に【表】に定めたポイントの合計が15ポイント以上。
- ②必須プログラム：全学公開授業による授業の公開、または授業サロンに参加すること。

※ただし、個人で授業を持たない教員等、本条件を満たすことができない場合は、申し出により教員キャリアアッププログラムで行う「マイクロ・ティーチング」関連のプログラムへの参加で代替することができる。

票等を提出した場合に付与される。詳細については、大学教育研究センターホームページまたは大学教育研究センター（E-mail：kyokenc@office.chubu.ac.jp）まで。

教職協働研修としての期待

2013年度から本プログラムを実施、2011年度以降のFD企画への参加状況に基づき、2012年度末には2人、2013年度末には16人の教員が修了し、今年度以降もさらなる修了者の増加が期待される。一方、私立大学を取り巻く環境は近年大きく変化しており、教員と事務職員と協働して大学教育の改革・改善に取り組む時代となっており、大学の事務職員としての能力開発であるSD（Staff Development）の必要性も一層高まっている。本学が実施しているFD企画は、SD研修ともオーバーラップしており、本学独自のFD・SD活動の奨励につながるとともに、教職員の教育に関する力量形成に有効となるものと確信している。

本プログラムの修了の流れ

中部大学『魅力ある授業づくり』プログラムは、本学教員が対象でエントリーの必要はなく、規定の修了要件を満たした教員には、大学教育研究センターから通知される。修了者には、毎年、中部大学教育活動顕彰制度授賞式で修了証が授与される。【図】に、本プログラム修了モデルの例を示す。

これらのFD企画の実施要領等の案内は、E-mailで随時行っており、ポイントはFD企画に参加して参加



中部大学『魅力ある授業づくり』プログラム修了証